

# 「花の種銀行」便り

第20号

H22.8.10



5/2 ~ 5/4  
善光寺花回廊にて

## アンケート結果についてのご報告

前回のお便りをお送りした際、アンケート用紙を同封させていただきました。

お忙しい中回答してくださった皆様、ありがとうございました。結果についてご報告させていただきます。  
700通送付し、返信156通と、やや寂しい結果となりました。

「花の種銀行便り」に載せて欲しい内容をうかがったところ、疑問・質問コーナー、花自慢・庭自慢コーナー、山野草や宿根草の育て方、挿し木の方法、葉の病気の対処法、上田に関係のある植物について、その他さまざまなご要望をいただきました。今回はその中から「基本的な花の育て方」と「種の採り方」をご紹介します。

銀行をあまりご利用にならない方の多くが、種の返却を負担に感じていることがわかりました。

種が採れず返却できないため、その後足が遠のいてしまった方が大勢いました。種が採れなくても遠慮せず、また新しい種にチャレンジしてください。種の返却は採れた場合で結構ですので、ぜひ、また「花の種銀行」をご利用ください。

このほかにも皆様からいただいた貴重なご意見は、今後の銀行運営に生かし、より利用しやすい「花の種銀行」にするべく改善して参ります。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

## 基本的な花の育て方

### 種まきの仕方（一般に発芽に最適な温度は15～20℃）

プランターや鉢などに、容器の深さの半分ほど土を入れる。（市販の「プランターの土」や「培養土」が適している。）

鉢の下から流れ出るくらい、水をたっぷり、まんべんなくかける。（水をかけることで土が固まり、平らになる。また、種をまいた後にたっぷり水をかけると種が動いてしまうため。）

1cmに1粒落ちるくらいの間隔で種をまく。

覆土する。基本的に種の3倍の厚さで乾いた土を平らになるようにかける。ただし、好光性の種（アゲラタム、インパチェンス、金魚草、ペゴニア、ペチュニア、なでしこなど）は薄めに覆土し、嫌光性の種（ニゲラ、百日草、花菱草など）は厚めに覆土する。

被せた土が落ち着く程度に水をやる。（種をまく前にしっかりと水をやっているのので、ここでは湿る程度でよい。）

まいた花の名前、日付を書いた名札を付けると便利。

1～2週間ほど、いつも土が湿っているように灌水する。発芽する前後は必ず日光に当てる。

### ポット上げの仕方（通常7.5cmのポリポットを使用）

土は種まきに使用した土をそのまま使うとよい。

必要に応じて、化成肥料を少量土に混ぜる。

本葉と子葉と合わせて4枚の葉っぱが出てきたらポット上げの時期。

ポットに土を入れ、灌水してから根を切らないように植え込む。

ポットの底から根が2～3本出てきたら、プランターや露地に植え込む。（花が咲くか咲かないかくらいの若い苗の状態植え込むとよい。）



たくさん花を咲かせたい場合は毎日花殻を摘みましょ。花殻は頭だけでなく、根元から摘みます。また、花殻摘みをすると種はできません。

## 種の採り方、保存の仕方

花が次から次へと咲く時は花殻を摘んで種ができないようにしますが、つぼみが少なくなる花の終わり頃には花殻を摘まずに残しておきます。種を確実に採りたい場合は、柔らかい筆か綿棒などでオシベ（花粉）とメシベを交互に触って受粉させます。

種は通常、茶色や黒に熟してから採ります。ひまわりや朝顔のような大きな種は問題ありませんが、小さな種は花ごと、または花穂ごと切り取って紙袋に入れ、日陰か室内で充分乾燥させます。サルビアやほうせんか、パンジーなどのように、種が熟すと自然に落ちてしまう種類は、サヤが緑色のうちに切り取り、紙袋などに入れて追熟させます。

乾燥したら種以外のゴミ（サヤ、花びらなど）を取り除きます。

採り出した種は名前や花色、採った年月日などを記入した紙袋などに入れ、日の当たらない乾いた涼しい場所で保管します。

長期間保存する場合は、紙袋に入れた種を乾燥剤（シリカゲルなど）と一緒に密閉容器に入れ、冷蔵庫の中で保管します。

# 花の種銀行ニュース



「種から育てる花づくり講習会」開催 3月16日にデザイン・基本編を、5月7日に春まき実技編を開催しました。講師はおなじみの武田正男先生。実技編当日は雨が降ったり止んだりのあいにくの空模様でしたが、参加者の皆様にはテレビ取材にもご協力していただき、種まきもテレビ放映も無事終了しました。

「花の種銀行」設立10年目を迎える 4月16日に、「花の種銀行」がめでたく開設10年目を迎えました。この日は信濃毎日新聞が取材に来庁し、翌日の新聞に「花の種銀行」が掲載されました。この記事の影響が新規加入者が激増、市外の方からも問い合わせをいただくほどでした。また、5月7日には長野朝日放送のabnステーションでも「花の種銀行」が採り上げられました。この日は午前中が春まき実技編の講習会だったため、武田先生始め、参加して下さった会員の方にも取材にご協力していただきました。午後には本庁舎4階の公園緑地課にもテレビ局のスタッフが「花の種銀行」の取材に訪れました。テレビに出るのを嫌がってさんざんごねていたM田さんも、カメラが回ると観念した様子。最後は銀行に対する思いを熱く語ってくれました。

「花を育て隊」猛暑の中、植え付け・草取り作業 6月16・17・18日の三日間、夏苗の植え付け作業を行いました。特に二日目の上田駅お城口周辺への植え付けの日は30℃を越す猛暑となり、一同汗だくで作業しました。また、7月29日には花壇の草取りをしました。連日30℃を越す暑い日が続いていましたが、この日は幸い暑さもひと休み、皆様のご協力で作業もはかどりました。植え付け・草取りに参加して下さった皆様、本当にお疲れさまでした。

尚、「花を育て隊」のボランティアは常時募集しております。参加ご希望の方は電話、FAX、はがきで公園緑地課までお申し込みください。作業日程をご連絡しますので、都合のよい日にご参加ください。次回はビオラのポット上げを予定しております。



## ジャーマンアイリスの球根を差し上げます！

6月に市民の方からジャーマンアイリスの球根をたくさんいただきました。学校や保育園、市の施設などでもご利用いただきましたが、まだまだたくさんあります。そこで市民の皆様にもご利用いただこうと、ジャーマンアイリスの球根を差し上げることにしました。ご希望の方は市役所本庁舎4階 公園緑地課の「花の種銀行」窓口までお越しください。本店のみの扱いです。支店(各地域自治センター内)では扱っておりませんのでご了承ください。又お越しの際はお手数ですが、お持ち帰り用のビニール袋をご持参くださいますようお願いいたします。



- ・日当たり、水はけ、風通しのよい乾燥した土壌を好みます。水はけが悪い場合は、土を盛って(高畝にして)植えます。
- ・よほどの痩せた土地以外は、肥料は不要。
- ・株の頭半分が出るくらいに浅植えします。
- ・植え付け時期・・・8月～9月ころ
- ・用途・・・花壇、畑、プランターや鉢植えなど
- ・花色・・・紫、黄、エンジ、白、紫と白の混合など、数種類ありますが、今回球根の段階で混ざっているため、色はわかりません。

球根はかなりたくさんありますがなくなりしだい終了とさせていただきますのでご了承ください。

# 花の種銀行からのお知らせ

## 🌱 秋まきの種、用意しました

花の種銀行ではこれから種まきをする秋まきの種をご用意しました。来春、かわいい花を咲かせてみませんか？  
アグロステンマ・イソトマ・かすみ草・金魚草・金せん花・シノグロッサム・白花月見草・大根の花・デルフィニウム・ネモフィラ・ノースポール・花菱草・パンジー・ビオラ・ヒナゲシ・ルピナス・ロベリアなど

## 🌱 「種から育てる花づくり講習会」(パンジー・ビオラ編)開催

パンジー・ビオラが全ての花づくりの基本になりますので、初心者の方、ぜひご参加ください。

日時・場所・・・9月1日(水)午前9時30分～11時30分 国分寺史跡公園

講師・・・武田正男さん(上田市農業バイオセンター職員)

申込み・・・8月30日(月)までに電話、FAXで公園緑地課へ

内容・・・秋まきの草花の種のまき方、冬の越し方、花の咲かせ方のポイントについて

持ち物・・・土(市販の「プランターの土」または「培養土」、種をまく容器(プランター・鉢など)、種(パンジー・ビオラの種は公園緑地課で用意しますが、自分でまきたい種がある場合は各自でご持参ください)。屋外での講習になりますので帽子などをお忘れなく。

## 🍷 アンケートのご協力をお願いいたします

前回に引き続き、今回もアンケート用紙を同封させていただきました。この「花の種銀行便り」や「種の種類一覧」をより有効に利用していただくため、お手数ですが同封のアンケート用紙にご記入の上ご返送ください。

## 🍷 ホームページをご利用ください

花の種銀行の情報は市のホームページにも掲載しております。寄贈でいただいた種の情報やこのお便りなども掲載していきますので、ぜひご利用ください。市のホームページ(下記アドレス)から“花の種銀行”で検索してご覧ください。<http://www.city.ueda.nagano.jp/hp/index.html>

## 万葉集に見る花の歌

突然ですが、たまにはこんなのもいかがですか……

わがやどに蒔きしなでしこいつしかも花に咲きなむなそへつつ見む おおもものやかもち 大伴家持

わが家の庭に蒔いたなでしこはいつになったら咲くのだろうか。咲いたら、あなただと思って眺めるだろうに。(家持が婚約者に贈った歌。万葉集中26首あるなでしこの歌のうち、11首が家持作)



いはばし たるみ うへ も い 石走る垂水の上のさわらびの萌え出づる春になりけるかも しきのみこ 志貴皇子

岩を勢いよく流れる滝のほとりに、わらびが萌え出る春になったのだなあ。(さわらびは芽を出したばかりのわらび)

春の野にすみれ摘みにと来し我ぞ野をなつかしみ一夜寝にける ひとよね 山部赤人 やまべのあかひと

春の野にすみれを摘もうとやってきた私は、その野の美しさに心惹かれて離れがたく、とうとう一夜を明かしてしまった。(学生時代、この歌や志貴皇子のさわらびの歌は古文の授業で習いました。懐かしかった方も多いのではないのでしょうか?)

~~~~ ご連絡・問合せ先 上田市役所  公園緑地課 TEL 23-5134/FAX 23-8247 ~~~~